

Lisa Royal

リサ・ロイヤル

ジャーメインが送る日本人へのメッセージ あなたが世界を変える方法

質の高いチャネリングで有名なリサ・ロイヤルさん。

第二の故郷と言うほど日本びいきのリサさんに、

来日の際チャネリングをしていただいた。

混沌の時代を生きる日本人へのメッセージである。

翻訳 星名 一美

取材・構成 生島 裕



日本人へのメッセージを語るジャーメイン(リサ・ロイヤル)

エネルギーとつながる方法

皆さんこんにちは、ジャーメインです。お会いできてとても嬉しいです。

人生の意味について疑問を抱いている読者に対して、メッセージをお伝えします。

今、日本だけでなく、世界中で大勢の人が、経済的な問題や人間関係から来るストレスにさらされています。ストレスがあまりに大きいので、人々は自分の靈的なニーズを満たせなくなっています。

ここで言う「靈的なニーズ」とは、宗教的な信仰心のことではなく、一人ひとりの中にある普遍的なエネルギーとの結びつきに関することです。

このエネルギーは、人々の内面的な本質との接点になっています。元はといえば、皆さんは人間としての経験を積むために肉体を持つて生まれてくることを選択した光の存在です。これは私たちからの助言ですが、一日5分間、地下鉄に乗っている間でもよいですから、自分の内面に意識を合わせて、心の中の普遍的なエネルギーを感じてください。

「方法がわからない」という人のためにヒントを差し上げましょう。一日5分間でも結構です。目を閉じて深呼吸をしながら、「私は自分の中にある普遍的なエネルギーにつながる方法を知っている」と思ってください。最初は知っている「ふり」だけでよいのです。「私はその方法を知っている」と思うことで、実際に自分の内なる普遍的なエネルギーとつながることができます。ふりをするという行為は、内なる自己へとつながる

扉を開けるツールになります。

毎日5分間を、宇宙との結びつきを感じる時間として当てて、自分の意識の大きさを実感してください。

あなたが本当の自分とつながつて、大きな意識であることを自ら実感するようになると、人間としての生活に対処することが、今よりもずっと楽になるでしょう。

大きな意識に触れる機会が増えるほど、自己の本質への理解が深まります。短時間のエクササイズが、本当に役立ちます。

それから、もうひとつ伝えたいことがあります。大勢の人々が「世界はいつたいどうすれば変わるものか?」と焦りを感じています。世界には解決すべき問題が多くて、状況は絶望的だと感じる人々も多くいます。

でも私たちは、「決してそんなことはない」と伝えたいのです。地球の変革は、一つひとつ段階を経て実現するわけではありません。それは第1段階から第2段階へ、そしてさらには第3段階へと時系列順に起こるわけではなく、ホロン的に起こります。

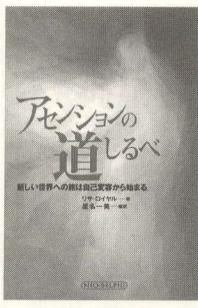
それは一人ひとりの意識の変容から始まります。つまり、一人ひとりの意識の変化が集合意識に影響を与え、世界を変えていくのです。世界の再生は、実現することが十分に可能です。私たちも皆さんと一緒に実現することをめざして、世界を変える責任は、皆さん一人ひとりにあります。自分の外の世界を変える心配をしないでください。

profile

リサ・ロイヤル Lisa Royal

大学で心理学を学ぶかたわら、催眠療法に关心を持ち、ストレス管理の一環として変性意識状態に入る方法を習得する。1979年、家族とUFOを目撃したこと機に、地球外の文明に関心を抱く。1980年代前半、チャネリング能力を開発する集中訓練を受けて、人類と宇宙人の結びつきに関する詳細な情報を受信し始める。現在の人類に連なる宇宙人文明の歴史を『プリズム・オブ・リラ』(ネオデルフィ刊)に著す。現在、急速に進みつつある人類の意識の変容と、その背景情報に詳しく述べながら、日々日常生活で生かせる実戦的な知識の提供を、活動のモットーとしている。アメリカ国内だけでなく、日本やドイツといった諸外国でも、豊富な講演経験を持つ。夫のロナルド・ホルト氏とアリゾナ州フェニックス市に在住。<http://www.royalpriest.com>

リサさんの
サイン本
プレゼント!



リサ・ロイヤルさんの新刊サイン本『アセンションの道しるべ』を10名様にプレゼント! 「ご愛読者カード」の余白に希望図書名を明記の上、お送りください。2004年1月31日消印有効。

『アセンションの道しるべ』 星野一美訳
ネオデルフィ発行 星雲社発売(1800円+税)

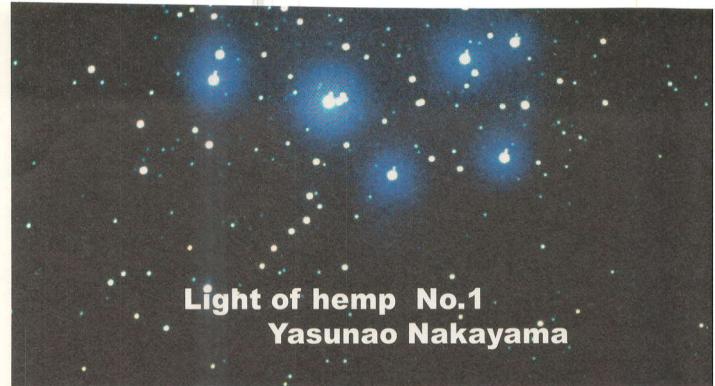
まずはあなた自身の意識を変えることから始めてください。すると他のすべてが、うまくいきます。

大きな目で見ると、地球は間違いの余地はありません。しかし、すでに述べたように、それはあくまでも

一人ひとりが自分の意識を変える決意を持つことから始まります。まず

は自分の心の中にある、普遍的なエネルギーとつながることから始めてください。

皆さんも待ち望んできた変革が、美しく実現することでしょう。それが実際に起きることを、ぜひ皆さんに知つてもらいたいのです。そろそろお別れのときがきました。皆さんにたくさんの方の愛を送ります。さようなら。



Light of hemp No.1
Yasunao Nakayama

がありません。全ては「自分のもの」というより「共有されているもの」という認識なんです。そして究極の太陽が7つありました。才差運動の関係で太陽が0から7つ出る場合などいろいろあります。このひとつひとつの太陽の色と役割が違つて7つ揃うとレインボー。7つ揃つて出る時は「お祭り」なんです。住んでいるのは私たちと同じようなヒト型生命体でこの生命体は発光します。ライトボディになります。太陽が7つあるので殆ど夜がありません。夜が無いので長い睡眠もなくして、ちょっと仮眠するぐらいの感じですね。ちょっと横になつただけでスッキリしてしまふんです。その星では「家族」という概念がなくて、星全体がひとつのかな世界です。従つて本物しか通用

過去から未来に流れ時間を逆行することはできません。私の行った星では、時間と球体認識していて、「今ここ」しかないんです。「今ここ」しかないんです。移動するのではなくそこに「位置する」ことなんですね。この星での移動手段は、すべてテレビーションです。別の惑星に行くこともあるんですが、その時は円盤を使っていました。このような文化とテクノロジーをもつ、この星ではある植物が様々なツールとして使われており、僕は仕事としてその星である植物を栽培して、その植物から出来たフラワー・エッセンスを核で汚染された別の星に出荷して核汚染を中和したりしていたんです。その植物を通してその星の天と地をつなげるというシャーマニックな仕事をも担当していました。その植物のことをプレアデスのアルシオーネでは「カンバラ」と言いました。これは宇宙語だと思います。植物に関わる仕事を通じてその星に恩恵を与える仕事をしたわけですね。そうしてその星での役割を終えて安らぎと共に地球に戻り、中学生として一命を取りとめた自分に戻ったというわけです。

地獄での一廻」との再会

ふもとに行き、これらを紐解く糸口と出会うことになりました。ヒマラヤの山岳民族の村で、臨死体験で行つた星で関わっていた植物が一面に生えている畑を見たんです。プレアデスのアルシオーネで関わつていた「カンバラ」という植物は地球では「大麻草」と呼ばれるものでした。それを見た瞬間に、それまで自分の経験を「妄想」だと思って悶々としていた僕は、自分が星に行つた記憶が「妄想」などではなく、ある種の神祕体験「神様からの啓示」のような体験だと知りました。その植物を育ててヒマラヤの山岳民族の人達のエネルギーは本当にやわらかな癒しのエネ

たエネルギーに支えられてここまできたのです。そして今、ヘンプは世間的にも見直されましたので、随分話しやすくなりました。実際、中学の時の臨死体験すらなかなか話せなかつたのです。みんながハートで受け止めてくれるようになつたきのうで、僕も精一杯お伝えをしています

神道の秘儀「神宮大麻」

ヘンプは日本の文化の中では「より代」と言われています。より一ることは何かというと神々が依つてくるところなんですね。「昔、神々は庭の草木をつたて降りてきた」と言われています。これはどういうこと

神道の秘儀「神宮大麻」

「亨プ」は日本の文化の中では
「依り代」と言われています。より一
ろとは何かというと神々が依つてく
るところなんですね。「昔、神々は麻
の草木をつたつて降りてきた」と言
われています。これはどういうこと
かというと、さつき神社の鈴ひもに
使われているとか、お盆の迎え火に
麻を焚くと言いましたが、これはば
先祖に合図を送つているということ
です。つまり、この麻というのは依り
代という、天と地を結ぶツールに
なつていたのです。このような役割
をしていた「麻」が法的な規制を受け
て、今の日常の土壤に無いというう

profile

中山康直 Yasuno Nakayama

宇宙連合アマト 繩文エネルギー研究所所長。1964年静岡県生まれ。13歳の時の臨死体験で高度に進化した惑星文化を体験し、天空の地球人となる。「縄文エネルギー研究所」を設立し、ナチュラルテクノロジーの研究とヘンプ製品の開発および発明を中心に、講演ライブ/麻産業のコンサルティング/プロデュースなど幅広い分野で活動するライフ・コ・クリエーター。誰もが楽しめる惑星社会を実現するための宇宙平和プロジェクト「地球維新」を実践する光の志士。著書に『麻ことのはなし』がある。(ヘンプカーブプロジェクト2002実行委員長)

(続く)

をあらわし、地上天国が現実になることを意味しています。

これは聞いても「幻覚」「妄想」としか思えない世界ですよね。こんな劇的な体験をしてしまったので、中学時代の僕にはカルチャーショックで学校の勉強などは全く面白いと思えず悶々としたわけです。それとこれははつきりしていますが、地球へは自分の意志で戻ってきました。ある目的があつて……。

らしい資源が麻薬というレッテルを貼られ規制されていることも知りました。規制している現代の集合意識と価値体系の方がおかしいと気付いたんです。調べるうちに祖父の代まで農業用ご神事用、お祭り用の服を麻で作り販売していたということを分かり、「麻」という植物研究を通じて本当の自分発見に人生を捧げようという決意をしました。麻に関わつ

とは、天と地がつながっていないといふことなんですね。麻の持つさまざまな環境的な有用性があり見直さるべきだと言いましたが、それ以上に天と地を結ぶ機能を持つ、神人合一の架け橋、つまり人間が進化していくためのツールだ考えています。従つて波動的にもエネルギー的にも麻を重要視しています。このヘンプの醸し出す磁場というかエネルギーの周波数は、かなり高周波で密度の細いもので、女神性や癒しのエネルギー、次元の高い周波数を宇宙に発信しているのですね。その高周波に同調、干渉するエネルギーは神域にあるものだつたり神さまの世界だつたりするのですが、そういうことを古代人は知つていて神道の文化のかでも、生活の風習の中でも使っていましたね。こうした文化が地球上に復活してくれば、地球は宇宙つながりやすくなります。すなわち、地上に麻が復活するということは、人類が神様の世界に入るということをあらわし、地上天国が現実になることを意味しています。

中山康直 Yasunao Nakayama

宇田連合アート ヨシエ工エネルギー研究所所長。1964年静岡県生まれ。13歳の時の臨死体験で高度に進化した惑星文化を体験し、天空の地球人となる。『ヨシエエネルギー研究所』を設立し、ナチュラルテクノロジーの研究とヘンプ製品の開発および発明を中心に、講演ライブ、麻産業のコンサルティング、プロデュースなど幅広い分野で活動するライター・クリエイター。誰もが楽しめる惑星社会を実現するための宇宙平和プロジェクト「地球維新」を実践する光の志士。著書に『麻このことはない』がある。(ヘンプカーブプロジェクト2002実行委員長)

(續)